

# 病院だより84



## 美祿市立病院 院長就任挨拶

美祿市立病院 院長 松永 登喜雄

この度、美祿市立病院においては5代目となる院長に就任致しました松永登喜雄です。私は、美祿市立病院に平成13年10月に赴任致しました。赴任当時は常勤医師が現在の2倍以上おり、賑やかな医局であったことはなつかしい思い出です。

さて、美祿市立病院は平成2年4月に開設され、平成10年7月には介護老人保健施設グリーンヒル美祿が併設されました。さらに平成14年5月には血液透析センターを開設しました。その後、平成20年3月には1市2町による市町村合併があり、平成22年4月より美祿市病院事業局が創設されました。当院はその中において併設老人保健施設とともに、急性期医療から慢性期医療・介護までを行っています。また、平成29年度から医師による「訪問診療」を開始

しております。しかし、地方の病院の共通課題である医師数の減少により、この地域の医療需要に十分対応できていないのが現状です。

当院では全国的な医療レベルを維持するため、平成16年に日本医療機能評価機構による病院機能評価を受審し、認定病院に指定されました。そして、平成21年に更新を受け、平成26年には3回目の更新認定を受けました。私たちの日々の業務に病院機能評価認定の経験が生かされています。今後、医師をはじめとする医療従事者の数の確保に努めるとともに、質を高めるため、専門医や認定看護師・薬剤師などの取得に対して積極的に援助を行ってまいります。

病院のハード面では、平成26年3月に電子カルテを導入、医療・安全の質の向上に役立っています。さら

に平成29年12月にはMRIを更新し、地域の皆様が最新の医療を受けられるようにしています。

一方、ソフト面では、平成24年1月より、地域医療を学ぶため臨床研修医や山口大学の医学部学生の当院での研修・学習が開始されました。また、平成30年4月からは、新専門医制度が始まり、当院は山口大学及び山口県立総合医療センターの「総合診療専門研修プログラム」の連携施設になりました。よりよい地域医療とは何か、地域医療を担う人材をどのように確保・育てていくのかは、大きなそして急がれる課題です。歴代院長の意志を受け継ぎ、すべての病院職員とともに自己研鑽し、少しでも地域医療に貢献できるように頑張っていく所存です。

問い合わせ先 美祿市立病院☎0837(52)1700